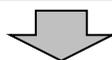


## ●指導のポイント

学校教育目標

郷土「向原」に誇りを持ち 自ら学び 心豊かで  
たくましく生きる生徒の育成



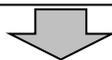
めざす生徒像

- 「想像・創造」… クリエイティブに思考し、表現する生徒
- 「協働」… 違いを受け入れ、かかわり合う生徒
- 「自分を知る」… 自分自身を理解する生徒



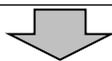
研究主題

主体的・対話的で深い学びの創造  
～ 聴き合い、学び合いによる授業を通して～



研究仮説

生徒が課題意識を持ち、自ら解決しようとする発問とはどのようなものか、また、多様な考えを引き出す（広げる）ことや、それらをファシリテート（つなげる）するための指導方法の工夫・改善を図ることを通して、聴き合い・学び合う授業となり、自らの考えを持ち、表現力を育成することができるようになるであろう。



研究内容：研究重点項目

### ◇「深い学び」につながる道徳の授業づくり

⇒授業づくりの柱(3点)を定め、指導方法の工夫・改善を行い、授業スタイルの確立とその実践を目指す。

- ① 課題意識を引き出し、考えを広げる工夫
- ② 生徒の感想や考えからつなげる工夫（ファシリテート）
- ③ 考えを深める「学び合い」と発問の工夫

### ◇道徳科における「評価」のあり方

⇒授業での効果的で適切な見取りと、授業改善につながる評価のあり方について研究を行う。

### ◇道徳教育と学校教育活動との効果的な関連の図り方

⇒他教科、総合的な学習の時間、特別活動等との効果的な関連を図りながらカリキュラムマネジメントを行う。

### ◇「郷土（ふるさと）」をテーマとした、小中高の連携による道徳の授業づくり

⇒地元高校も交え、郷土愛を目指した授業づくりを推進し、地域・保護者等を対象に地域公開の場を設け、発達段階に応じた子供たちへの道徳教育の取組を紹介する。